

秦野戸川公園・山岳スポーツセンター 事業計画書（目次）

I サービスの向上

- 1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等・・・・・・・・・・提案書 1
 - (1) 指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方【共通】
 - (2) 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営に当たっての基本的な考え方【共通】
 - (3) 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針【共通】
 - (4) 秦野戸川公園の特性を踏まえた管理運営方針【秦野戸川公園】
 - (5) スポーツ・競技振興に関する考え方【山岳スポーツセンター】
 - (6) 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等【共通】・・・・・・・・提案書 2

- 2 施設の維持管理・・・・・・・・・・提案書 3
 - (1) 一体的な管理運営による効率的な維持管理（経費節減効果を含む）【共通】
 - (2) 提案内容の実現の見込み【共通】
 - (3) 植物管理、清掃、保守点検、受付等の維持管理業務についての実施方針【秦野戸川公園】
 - (4) 秦野戸川公園の特性と課題をふまえた維持管理の考え方【秦野戸川公園】
 - (5) 清掃、保守点検、受付等の維持管理業務についての実施方針【山岳スポーツセンター】

〈付属書類 秦野戸川公園のみ〉（別添）
年間維持管理計画表

- 3 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金・・・・・・・・提案書 4
 - (1) より多くの利用を図るために行う広報、PR活動の内容等【共通】
 - (2) 提案内容の実現の見込み【共通】
 - (3) より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等の考え方【秦野戸川公園】
 - (4) より多くの利用を図るために実施する登山・山岳競技等の振興に関する取組の実施方針、内容等【山岳スポーツセンター】
 - (5) 自主事業の運営【秦野戸川公園】・・・・・・・・提案書 5

〈付属書類 秦野戸川公園のみ〉（別添）
ア 駐車場事業計画
イ 自動販売機事業計画
ウ 茶室事業計画
エ バーベキュー事業計画
オ パークセンター窓口売店事業計画
カ ケータリングによる飲食の販売計画

- (6) 利用料金の設定、減免の考え方【共通】 提案書 6
- (7) 接客、苦情処理、利用指導等の考え方【共通】 提案書 7
- (8) サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の
事業等への反映の仕組み【共通】
- (9) 提案内容の実現の見込み【共通】

4 事故防止等安全管理

- (1) 通常の指定管理業務を行う中での事故防止等の取組内容【共通】 提案書 8
- (2) 事故、異常気象等の緊急事態が発生した場合の対応方針【共通】 提案書 9
- (3) 急病人等が生じた場合の対応【共通】
- (4) 提案内容の実現の見込み【共通】
- (5) 登山・山岳競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等
の安全確保に関する取組【山岳スポーツセンター】
- (6) 当該公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応【共通】 . . . 提案書 10
- (7) 大規模災害発生時の施設の特性、立地状況等に応じた災害対応の考
え方（両施設の連携、地域との連携、防災訓練、災害対応物品の備蓄、災
害発生時の協力等）【共通】
- (8) 提案内容の実現の見込み【共通】

5 地域と連携した魅力ある施設づくり 提案書 11

- (1) 地域人材の活用、地域・関係機関との協力体制の構築【共通】
- (2) ボランティア団体等との連携、協働及び育成【共通】
- (3) 周辺施設との交流・連携【共通】
- (4) 一体的な管理における地域企業等への一括的な業務委託による迅速、
かつ、きめ細かいサービスの提供に向けた取組内容【共通】
- (5) 企業の CSR 活動（社会的責任、社会貢献）や学校等との連携について
- (6) 提案内容の実現の見込み【共通】
- (7) 他の公園との連携【秦野戸川公園】
- (8) 地域振興に関する取組【山岳スポーツセンター】

II 管理経費の節減等 提案書 12

〈付属書類〉（別添）

- 1 秦野戸川公園に係る収支計画書・支出計画算出根拠
- 2 秦野戸川公園に係る収入積算内訳書
- 3 山岳スポーツセンターに係る収支計画書（平成 27 年度～31 年度の収支計画書）
・経費積算内訳書・内訳書 1「人件費」

- Ⅲ 団体の業務遂行能力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・提案書 13
 - 1 人的な能力、執行体制
 - (1)指定期間を通じて両施設を効果的・効率的に指定管理業務を行うための人員配置等の状況
 - (2)業務の一部を委託する場合の管理・指導体制の状況
 - (3)指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用の状況
 - 2 コンプライアンス、社会貢献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・提案書 14
 - (1)指定管理業務を実施するために必要な団体等の諸規程の整備、法令遵守の徹底に向けた取組の状況
 - (2)個人情報の保護についての考え方・方針及び個人情報の取扱いの状況
 - (3)指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況
 - (4)障害者雇用促進の考え方
 - 3 これまでの実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・提案書 15
 - (1)秦野戸川公園及び山岳スポーツセンターと類似の業務を行う施設等での管理実績の状況

I サービスの向上

提案書1 「指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等」

(1) 指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方【共通】

私たち公益財団法人神奈川県公園協会（以下、「当協会」という。）は、神奈川県内における都市緑化と自然環境保全に貢献する高い意識をもち、これまで40年にわたり数多くの県立都市公園をしっかりと管理してきました。

その結果、県の指定管理業務評価において、「特に優良」の評価を平成22年度に4公園、平成23年度に3公園、平成24年度に5公園でいただきました。その他のほとんどの公園についても「優良」の評価を得ています。

県立都市公園の指定管理業務にあたっては、

- これまでの経験から得た各県立都市公園の設置目的への理解に基づき、行政の代行者として県民の福祉健康や緑・環境の保全を実現すること
- 各公園を神奈川県の魅力向上に資する貴重な財産ととらえ、県民をはじめとする利用者の皆さまに平等に、その価値を提供し続けること

が私たちの使命であると考えます。

また、山岳スポーツセンターについても、平成9年の開館以来、適切に管理運営を行ってきました。今後以下の運営の考え方に基づいて、高水準な利用環境の維持と利用者満足度の向上を目指した管理運営を行ってまいります。

■安全で快適な利用空間の提供

両施設は神奈川県の高貴な財産であり、県民に安らぎをもたらすとともに、楽しく活動するためのステージでもあります。「公の施設」として、誰もが安心して快適に利用できる環境を提供します。

- きめ細かい管理による利用環境の維持と安全確保
- 公平・公正な利用の確保
- 公園の特性をふまえた災害への備えの強化

■より高い公益性の発揮

これまでに培った経験と財産を活かすとともに地域や関係団体との信頼関係とネットワークを活かし、地域社会に貢献します。

- 神奈川県「未病を治すかながわ宣言」に賛同し、具体的に取組む
- みどり、環境、生物多様性の保全の普及啓発
- 環境に配慮した資源循環型管理の実践
- 公園管理における協働の促進と人材育成
- 障がい者施設等と連携した花苗生産と公園での活用



公園周辺での緑化活動

■効率的、効果的な管理運営

公の施設として、常にVFM（バリューフォーマネー）を意識し、最小のコストで

最大の効果を発揮する効率的、効果的な管理運営を目指します。

- 複数施設の管理運営によるスケールメリットの発揮
- 大型機械の導入による業務効率化
- これまでに培った人材や公園管理ノウハウの活用
- 従来からの信頼関係にもとづいた地域連携力の活用
- 防災と環境保護のための特定資産の活用

(2) 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営に当たっての基本的な考え方【共通】

当協会は、秦野戸川公園と山岳スポーツセンター（以下、「山岳 SC」という。）のそれぞれの設置目的や整備方針等を踏まえ、開園時から管理運営を行ってきました。また、両施設が丹沢山塊へのゲートウェイにあたることから、登山客も視野に入れたサービスの提供も行ってきました。

当協会は平成 22 年に第 61 回全国植樹祭が本公園で開催された際に、全面的なバックアップを行うとともに、効果的な情報発信を行い、本公園の知名度向上に結びました。

このような運営努力を続けた結果、県の平成 24 年度の指定管理業務評価において「特に優良」との評価を受けました。

こうした経験や実績、地域との繋がりから得た信頼を基礎にして、また、本公園内に立地する自然公園施設である秦野ビジターセンター（以下、「秦野 VC」という。）も当協会が運営している点を活かしながら、両施設について、以下の総合的な管理運営方針により適切な管理運営を行っていきます。

丹沢の自然に親しむアウトドアレクリエーションパーク

- ① 両施設の一体的管理による効率的、効果的な管理運営
- ② 都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康・スポーツの振興
- ③ 広域利用の拡大も視野に入れた地域振興の核になる公園づくり
- ④ 防災と安全を強化した運営管理

① 両施設の一体的管理による効率的、効果的な管理運営

本公園と山岳 SC は開園当初から当協会が管理運営を行っており、情報の共有化や連携した体験プログラムの実施等で効果的な公園管理に努めてきました。

両施設を一体的に管理することによる、新たな魅力づくりやスケールメリットを活かした一層効果的、効率的な事業運営を実施します。

- 管理スタッフの兼務による一元的な管理や委託業務の集約発注等により、コストの縮減を図ります。



3館合同イベント
「みんなで作る・登る・遊ぶ」

- 両施設に秦野 VC の機能も加えた 3 館合同によるイベントを実施します。
- バーベキュー、野点、川遊び、サッカー等を宿泊とセットにした新しい体験プログラムを提供します。

② 都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康・スポーツの振興

大都市から 1 時間で丹沢山塊の雄大な自然も楽しめるアウトドア空間は、都市生活者にとって大変貴重な存在です。このような恵まれた資源を活用し、更なる魅力向上と利用拡大を図ります。

- 地域を代表する花修景地の規模を拡大して、更なる魅力向上を図ります。
- 両施設を活かしたスポーツや健康促進のプログラムを展開します。
- 自然との関わり方を学ぶ教育的プログラムを展開します。
- 風の吊り橋をはじめ日本庭園など四季折々のライトアップによる演出を行い、新たな魅力を創出します。



ノルディックウォーキング

③ 広域利用の拡大も視野に入れた地域振興の核になる公園づくり

本公園に隣接して新東名高速道路の「秦野サービスエリア及びスマートインターチェンジ」の建設計画があり、広域からのアクセスが可能となるので、観光地としての注目度が高まることが期待されます。そこで本公園と地域が一体となった魅力づくりを更に推進します。

- 地元農家と連携した収穫体験や農作物の販売等、地域色豊かなイベントにより地域からの魅力を発信します。
- 県央やまなみ 5 市町村と連携したスタンプラリーの開催や共同 PR の実施など、広域観光振興に取り組みます。
- ボランティアや地元住民など様々な活動の場を提供し、人々に愛される公園づくりを目指します。
- 丹沢の表玄関として、登山情報をはじめとする登山者向けサービスを提供します。



6千株のアジサイ

④ 防災と安全を強化した運営管理

本公園のパークセンターと山岳 SC は、秦野市の避難所（風水害）に指定されています。このため秦野市と連携し、防災体制を整えるほか備蓄品を充実させ防災機能を高めます。

さらに、地域や利用者と連携した訓練を通じて、防災意識の向上を図ります。また、園内には水無川が流れており、急激な増水で水難事故が発生する恐れがあることから、川遊びでの安全確保に留意した対策を徹底します。

- 市や地域、利用者と連携し、防災体制を整え、防災意識の向上を図ります。
- 自主財源で食糧や水などの災害対備蓄品を充実します。
- 緊急時にはパークセンターと山岳 SC で地域住民や帰宅困難者等を受け入れます。
- 気象状況に応じた「川遊びゾーン」の安全対策を徹底します。

(3) 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針【共通】

■ 平等な利用の確保

公園は、子どもから高齢者、障がい者、外国の方などの利用者や地域団体、ボランティア団体など様々な立場の方が利用されるため、私たちは関係法令や利用ルール等を遵守し、公益財団法人としての使命感に基づいて平等な利用を確保します。

また、安全で快適な利用環境を提供するとともに、積極的な情報発信を行い、できるだけ多くの方々が本公園を利用していただけるよう利用機会の拡大に取り組みます。

さらに、あらゆる方に対して利便性を向上させるため、ソフト面からユニバーサルデザインに取り組みます。

■ 利用者や地域住民等の意見の反映

私たちはこれまでの管理経験から、公園の運営においては地域との関わり、連携が大変重要であると考えます。そのため、公園モニターや利用者アンケート等を活用して、利用者や地域住民の声を取り入れながら、業務改善に反映させていきます。

特に、本公園では従前から、周辺の自治会や近隣の学校との繋がりが強く、イベントや防災訓練などにも積極的に参加していただいています。「秦野戸川公園利用運営会議」をとおして、情報の共有を図りつつ、より良い公園を目指して意見交換をしています。両施設はこれからも地域の一員として、地域住民や自治体、関係機関等と協力しながら、管理運営していきます。



秦野戸川公園利用運営会議

■ 環境に配慮した管理運営

公園エリアは神奈川の豊かな緑を構成する一部であり、自然の多様性に触れ、自然を大切にすることを育む場所として環境配慮の重要性について普及啓発するための重要なフィールドと考えます。

管理運営にあたっては、当協会が独自に構築した「環境マネジメントシステム」により、環境負荷の軽減や資源循環型の維持管理（ゼロエミッション）等、総合的な環境マネジメントを推進します。これに加えて、バーベキュー場や山岳 SC など多くの利用者が訪れる施設では、ゴミの持ち帰りを呼び掛け、利用者と一緒にゼロエミッションを推進します。

さらに地域と連携して周辺道路の清掃活動を行う「ゴミゼロアクセス」などの取り組みを通じ、これからも身近な環境を大切にしていきます。

(4) 秦野戸川公園の特性を踏まえた管理運営方針【秦野戸川公園】

■施設の特性

本公園は、近年、海外からの観光客にも人気が高い丹沢の南に位置し、丹沢山麗の素晴らしい景観の中に広がる公園です。公園のシンボルである「風の吊り橋」と丹沢山塊を背景に、チューリップの名所やアジサイ、ヒマワリ、コスモスなど季節感あふれる花の見どころとして、知名度が向上してきました。

一方、周辺の自然と調和した日本庭園と、伝統の工法を活かした茶室や休憩所は、上質な“おもてなしの空間”として、多くの方々に利用されています。

公園の中心を流れる水無川では、憩いと潤いの空間の中で、天候の良い日には子どもたちが川遊びに興じています。

また、休日や夏休みにはバーベキュー利用者も含め多くの親子連れやグループで賑わっています。その他、ふわふわジャンプや大型複合遊具、少年野球場、多目的グラウンドなどの施設が整備されており、多彩なアウトドアレクリエーションを楽しむことができます。



お茶室「おおすみ山居」と日本庭園

■本公園の管理運営方針

○快適なアウトドアレクリエーションの提供

～健康・スポーツの振興～

大都市近郊にあって、雄大な自然とアウトドアレジャーを安全に楽しむことができる本公園は、都市生活者にとって大変魅力的な存在です。

県内外の登山・クライミングの愛好者に親しまれてきた山岳 SC と本公園とが一体的に管理運営されることで、公園のバーベキューやグラウンド利用と山岳 SC の宿泊利用がセットで提供ができるようになり、今後はこうした様々な工夫をしながら公園全体のレクリエーション機能の充実を図っていきます。

また、両施設のスポーツ施設や園路を利用したウォーキングコースを設定するなど健康に関するプログラムを提供していきます。



風の吊り橋と複合遊具

○地域と一体となった管理運営

当協会は、本公園開園当初から管理運営に携わってきました。その中で得た秦野市や地元自治会などとの信頼と連携をさらに深めるとともに今後は秦野市、厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村で進めている広報観光振興「県央やまなみ地域」と連携を図るなど、本公園を広域レクリエーションの観光資源の一つとして活用を図り、地域活性化に貢献します。

○安心・安全な快適空間の提供

表丹沢を源流とした山岳河川である水無川は、山域に降った雨により急激に増水

する場合があります、河川の安全管理には特に注意が必要です。川遊び利用の多いシーズンには安全監視員を配置し、利用者の安全を確保します。

また、震災時には広域からの公園利用者が帰宅困難者になる恐れもあり、パークセンターと山岳 SC が一体となり、一時的な避難所として受け入れる体制を整えます。

(5) スポーツ・競技振興に関する考え方【山岳スポーツセンター】

山岳 SC は、平成 10 年の「かながわ・ゆめ国体」の山岳競技の主会場として、また県立丹沢登山訓練所の代替施設として、本公園内につくられました。その目的は「登山に関する知識の習得、技能の向上及びレクリエーションの場を提供し、もって県民のスポーツ振興に寄与するための施設」とされ、屋外 15m のクライミングウォール、屋内 6 m のクライミングウォール、研修室、宿泊棟の機能を備えています。



宿泊棟とクライミングウォール

当協会は、平成 9 年の開設当初よりこの設置目的を踏まえ、しっかりとした管理を行ってきました。今後、これまで培った経験やノウハウを活かして、以下の考え方により管理運営をしていきます。

■スポーツ・競技振興に関する考え方

○登山者の裾野拡大

首都圏近郊の丹沢・大山の山々には、高齢者や山ガールに代表される若年の世代まで幅広い層の登山者が訪れます。こうした登山ブームの中で、愛好者の数は全国で 700 万人にのぼると推定されております。登山は性別や年齢を問わず楽しめるスポーツとして今後もさらに人気が高まるものと思われれます。

登山は爽快感・達成感・充実感などの心理的要素、体力向上などの肉体的要素があり、心身のリフレッシュや健康維持に大変有効なスポーツです。また、消費カロリーの高い有酸素運動として生活習慣病の予防や解消にも適しており、県がすすめる「未病を治すかながわ宣言」取組みにも寄与するものです。さらに、登山をとおして思いやりの精神や協調性などを学ぶ機会ともなり、青少年の教育にとっても有益なスポーツです。



大山山頂

山岳 SC では、登山の魅力を伝えるだけでなく、マナーや技術を伝えることも大切な責務と考えます。そのため、多くの方にその機会を提供できるよう、親子、中高年、女性などを対象とした登山教室を開催するなど登山スポーツの裾野拡大に繋がります。

○クライミング競技の振興

近年ではフリークライミングが一つのスポーツ種目として定着しており、全国的な大会も開かれています。フリークライミングは一般的な登山と違い、登攀方法、器具の使用法、安全確保などの知識や技術が必要であり、研修等を通して学ぶ必要があ

ります。

スポーツは競技をすることによって、技術習得のスピードがアップします。一方、競技を観戦することで、愛好者の裾野が広がるだけでなく、スポーツを間接的に支えることに繋がります。

県内一の高さを誇る 15mのクライミングウォールは、技術向上のための練習場所として重要な施設であり、ここでは初心者からトップレベルの選手にいたるまで様々な技術レベルの方が利用しています。これまでにリード・ジャパンカップなどの全国的な大会も開催されており、知名度も向上してきました。

山岳 SC ではこれらを踏まえ、県教育委員会や県山岳連盟が推進している、競技人口の増加、競技者のレベルアップ、クライミング大会などをサポートすることによって、競技の振興を目指します。

○レクリエーションの場の提供

山岳 SC は、丹沢山麓の雄大で緑豊かな自然の中に立地し、その静かな環境の中で利用者はゆったりとした時間を楽しむことができます。

また、公園や秦野 VC の施設も隣接していることで様々な楽しみ方ができます。そのメリットを活かし3館合同での魅力あるレクリエーションプログラムを提供します。



クライミング大会参加の競技者



宿泊体験での星空観測

提案書 2 「業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等」

(6) 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等【共通】

①施設の管理基準等を踏まえた効果的、効率的な委託の考え方

両施設では、できるだけ直営で、きめ細かな維持管理を行うことを基本とします。その上で、法律等で定められた点検業務、専門技術や資格、機械機器類を要する業務、危険性を伴う業務については、効率的、効果的な観点から外部委託します。

また、地域活性化の観点から地元企業等に委ねることが相応しい業務等については、外部委託します。

■具体的な委託業務内容

施設	区分	管理項目	管理内容	業務内容	理由
秦野戸川公園	植物管理	高木管理	枝下し・枯損木処理	樹勢悪化木・支障枝の除去	高度な技術と高所作業で危険を伴うため
		花壇管理	花壇・イングリッシュガーデン	花植え・花芽摘み	障がい者の社会参加による花壇にするため
	施設管理	法定点検	消防設備・建築設備・エレベーター・電気工作物等	電気事業法・消防法による法定点検や建築基準法・遊具指針による点検等	免許及び専門的な知識を要するため
		定期点検	自動ドア・遊具施設		
		警備業務	機械・巡回警備	機械・巡回警備	専門設備を設置するため。また、公安委員会の許可を要するため
	清掃管理	設備清掃	水路側溝設備・建物等清掃	雨水設備・建物等清掃	専門的技術を要するため
		ゴミ処理	粗大ゴミ・不法投棄	ゴミ・残材搬出	免許を必要とする業務であるため
山岳スポーツセンター	植物管理	芝生管理	エアレーション	エアレーション	専門的な技術を要するため
	施設管理	法定点検	消防設備	消防法による法定点検	免許及び専門的な知識を要するため
		定期点検	クライミングウォール	ホールドとパネルの点検	
		警備業務	機械警備	機械警備	専用設備を設置しての業務のため
	清掃管理	設備清掃	建物清掃等・害虫駆除	建物清掃等	専門的技術を要するため
		ゴミ処理	粗大ゴミ・不法投棄	ゴミ搬出	免許を必要とする業務であるため
	宿泊管理	宿泊清掃	宿泊	宿泊者がいるときの夜勤	スタッフの日勤数を確保するため宿直を切り離すため
リネン洗濯		シーツ等の洗濯	シーツ等の洗濯	専門的技術を要するため	

②委託先の選定方法

委託先の選定にあたっては、競争性・透明性・公平性の確保と業務の品質確保に十分配慮して公募型競争入札を基本とし、適正な選定を行います。

そのため、公益財団法人神奈川県公園協会会計規程をはじめとする右記の関係諸規程によって、選定の手順や条件を明文化しています。

委託先の選定にあたっては、県の入札手続きを参考に募集開始から入札まで一定の期間を設け、幅広く応募していただけるように、募集内容を協会HPや公園の掲示板に貼り出すなどして、広く公表しています。

委託先は原則として、県の競争入札参加資格者名簿に登録された者から選定し、業務の水準を確保します。また、専門性の高い一部の業務を除く全ての業務について、地元を優先する地域要件を設けています。

選定に関する規程
・公益財団法人神奈川県公園協会会計規程
・公益財団法人神奈川県公園協会会計規程の運用について
・競争入札参加要件等選定委員会要領
・競争入札参加要件設定に係る基準
・指名業者選定基準

③県内（地域）経済への配慮、県内（地域）企業への委託の考え方

地域の企業は、その地域に精通していることで、迅速かつきめ細かい対応が可能です。また、地域経済への貢献や地域連携といった視点からも効果が期待できるため、本公園では下表のとおり、8割以上の業務を秦野市内の企業を中心とした県内企業に委託してきました。

また今後とも、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターや社会福祉法人、NPO法人等の地元非営利団体の活用も図り、引き続き地域の力を活用していきます。

【地域企業への業務委託実績】

(単位：件)

事業所 所在地	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		合 計
	公園	山岳 SC	公園	山岳 SC	公園	山岳 SC	公園	山岳 SC	
秦野市内	4	3	4	3	4	3	4	3	77 (県内比率 81%)
神奈川県内	7	5	7	5	8	5	7	5	
県外	2	3	2	3	1	3	2	2	18
合計	13	11	13	11	13	11	13	10	95

(年間実績報告書に基づく委託金額 10 万円以上の件数)



秦野市シルバー人材センターによる作業



秦野市障害者事業推進センターによる花壇管理

提案書3 「施設の維持管理」

(1) 一体的な管理運営による効率的な維持管理（経費節減効果を含む）【共通】

両施設は、丹沢山塊を背景とする雄大な景観と豊かな自然に恵まれ、多彩なレクリエーション機能を有しています。しかしながら、台風などによる水無川の増水時には、土石流が発生する恐れや堆積土砂の問題が生じやすく、常に利用者の安全確保に注意を払う必要があります。一方、山岳SCは公園区域内にあって、宿泊棟やクライミングウォール等の施設管理に加え、公園と同様に樹木や芝生の植物管理があります。

公園と山岳SCとの一体的な管理を行う中で、園長が館長を兼務するなどして、人員配置を工夫します。また、山岳SCの植物管理や簡易な修繕は、経験豊富な公園スタッフが作業を行うなどして、経費節減に繋がります。

【一体的管理によるメリット】

- 公園スタッフ … 直営管理業務を相互に兼務することで人件費を削減
- 事務処理 … 両施設の個別で対応していた業務を集約して実施
- 外部委託業務 … 個別発注していた業務を集約発注しコスト縮減
- 利用促進イベント … 個別で実施していたものを共同開催で内容の充実

(2) 提案内容の実現の見込み【共通】

当協会は、平成9年の開設以来、両施設それぞれで経費削減を行いながらしっかりと維持管理を行ってきました。その結果、地域との高い信頼関係を築くことができました。今回、これらの実績を踏まえた上での提案内容としました。また、提案内容の8割以上は既に実施済みであることから、確実にできるものです。

(3) 植物管理、清掃、保守点検、受付等の維持管理業務についての実施方針

【秦野戸川公園】

■植物管理

○安全を確保するための樹木管理

本公園には高木が園路脇や斜面に植栽されており、倒木や危険木を早期発見・早期対処するため、経験豊富な職員が巡回点検を行うとともに、樹木医など専門家の指導を受けながら、利用者の安全確保に留意した適切な樹木管理を実施します。

○高品位な庭園管理

茶室のある“おおすみ山居”の日本庭園では、美観を確保するために専門の技術をもった職人による手入れを行います。また、イングリッシュガーデンにおいても、より快適で質の高い庭園管理を実施します。



イングリッシュガーデン

○大規模な花修景を提供する維持管理

現在、6万本あるチューリップを、今後は10万本に増やすことによって、さらなる魅力向上を図ります。

また、ポピー、アジサイ、ヒマワリなど、一年を通じて花が楽しめる花修景の公園づくりを

目指し、観光地としての魅力向上を図ります。

■清掃管理

常に園内の清潔さを保つため、「ゴミゼロ公園」を目指し、毎日の早朝清掃に加えて、植栽作業や巡視の際に、簡易な清掃を行い、美観維持を徹底します。また、トイレは定期清掃や日常清掃により、清潔で快適な利用空間を提供します。

■保守点検

少年野球場、多目的グラウンドについては、安全なスポーツ環境を保つため不陸整正などの維持管理を行います。

子どもたちに人気が高い、ふわふわジャンプ、大型複合遊具は日常点検、定期点検により状況把握を行い安全性と快適性の確保に努めます。

また、水無川での川遊びを安全に楽しめるように、必要に応じて利用指導をするとともに、川底の点検を実施し、裸足で川に入る子ども達の怪我防止に努めます。さらに利用者の多い夏期には、現地に巡視員を常駐させ、安全確保を徹底します。

■受付管理

パークセンターは、公園の案内、休憩や多目的グラウンドなどの有料施設の受付などで、一年を通じて多くの人を訪れるため、窓口やエントランスの清潔な環境を整えるとともに、丁寧な受付案内や分かりやすい掲示の工夫に努めます。

また、茶室である“おおすみ山居”では、「おもてなし」の心で利用者に接し、日本古来の侘びさびの文化にふれていただけるくつろぎの空間を提供します。さらに茶室にもインフォメーション機能を持たせて、公園だけでなく山岳SCの利用案内等も行います。

今後も、ゾーンごとの運営方針を踏まえながら、上記の実施方針のもと管理基準を上回る質の高い維持管理を継続していきます。

(4) 秦野戸川公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方【秦野戸川公園】

■植物管理の具体的方策

植物管理にあたっては、自然環境の保全に十分配慮しながら育成管理計画に沿った維持管理を行います。また、各エリアの植生に応じた適切な植物管理によって、魅力向上を図ります。さらに、ヒマワリやコスモス等の花修景を充実させ1年をとおした公園の魅力づくりを行うとともに、現在6万本のチューリップを今後10万本に増やし利用促進に繋げます。

区分	特性と課題	維持管理の方策
樹林地・樹木管理	・年間を通じて強風が発生し易いので、倒木、枝折れに注意を要する	・除伐の実施 ・支障枝、危険木、枯損木の除去
樹林地管理 自然観察の森	・開放エリア内は下草やつる類が繁茂する	・年1回、下草刈り、除伐、つる切り、落ち葉掻きを実施
草地管理	・雑草が繁茂する ・草地広場は利用度も高い ・ヤマビルが侵入してきている	・管理基準を上回る年3～7回の機械除草と年2回の人力除草を実施 ・乾燥化させヤマビルの侵入を防止
花壇管理	・バスロータリー花壇、石庭花壇など年間を通じて花修景を演出できる ・大型プランターは乾燥に弱い	・年2回、季節に応じた花替えを実施 ・特性に応じた適切な灌水を実施
小さな庭の見本園	・見どころとなる大規模花壇がある ・イングリッシュガーデンはバラやハーブの植栽があり、管理水準が高い	・季節に応じた大規模管理を実施 ・人力によるきめ細かな管理を実施



6万本のチューリップ



秋を彩るコスモス

■保守管理の具体的方策

○ファミリーレクリエーションゾーン

公園および周辺地域のレクリエーション活動の利用拠点として、パークセンター、農体験場や遊具があり、安全・快適な施設を提供します。

施設	特性と課題	維持管理の方策
パークセンター	・周囲に花壇がなく彩りに欠ける ・空調、電気、放送等の制御機器が集中 ・休憩の場、会議室利用	・大型プランターによる花修景の演出 ・空調、電気、放送、監視カメラの適切な保守点検管理 ・イス、テーブル、畳等の機能維持
複合遊具、ふわふわジャンプ	・利用頻度が高く、劣化も見られる ・幼児や小学生の利用が多くふわふわジャンプからの転落の危険がある ・管理拠点から距離があり監視し難い	・重点ポイントに位置づけ点検を重視 ・ふわふわジャンプ周辺の砂部の毎日の耕耘及びび門扉開閉 ・遊具の修理履歴を記録し、情報共有 ・監視カメラを使い注視
大倉駐車場	・マイカー登山者も多く混雑時には満車で、周辺道路が渋滞になる	・渋滞発生が予想される場合は、交通誘導員を配置して対応

○スポーツ・レクリエーションゾーン

多目的グラウンドA・Bは、サッカーやターゲットバードゴルフ、大型イベント及び一般利用などに利用されています。管理にあたっては、乗用芝刈り機を使用した高水準な管理を行います。

施設	特性と課題	維持管理の方策
多目的グラウンドA	・サッカー、大型イベント及び一般利用もされ、幅広い利用者ニーズに対応した管理が必要	・直営作業による芝生のきめ細かな管理 ・雨天後の排水状況から利用可否の判断を実施
多目的グラウンドB	・ターゲットバードゴルフの利用頻度が高い	・直営作業によるきめ細かな整地や芝生管理 ・雨天後の排水状況から利用可否の判断を実施
少年野球場	・土日を中心に地元少年野球連盟などを中心に練習及び試合に利用され人気が高い	・内外野クレ一部分の整地、転圧、芝生部分の芝刈り等定期的な整備作業の実施



夏期の利用が高い川遊び場



少年野球場の利用状況

○川遊びゾーン

水無川は安全に川遊び体験ができる貴重なエリアであり、子どもが安心して川遊びを楽しめるため、家族連れはもちろん、保育園、幼稚園等の園外活動の場として、県内外からの利用も多いので、急な増水に備えた安全管理が必要になります。

施設	特性と課題	維持管理の方策
風の吊り橋	・吊り橋から川遊び場へ、落下物の危険性がある	・監視カメラやきめ細かな巡視点検を実施し、吊り橋からの落下物の未然防止
川遊び場	・川底にゴミや異物がある場合は、裸足で川に入る子どもが怪我をする恐れがあり、快適な遊び場の環境が求められる	・川底のゴミや異物の除去作業を実施し、安全を確認 ・夏期には河川巡視員を配置し、安全管理と利用指導を実施
河川敷	・ゲリラ豪雨等での急激な増水が発生することもあり、川への接近を禁止する必要がある ・増水後、川を渡る園路に土砂が堆積し、通行ができなくなる	・増水した場合は迅速に川の両岸にロープを張り、川へ立入禁止にする。また、園内放送で注意を喚起 ・当協会所有のバックホーで、即効性をもって土砂を除去し、早期に通行止めを解除する



河川への立入禁止措置



川を渡る園路の土砂の除去

○文化と芸術のゾーン

山里的な背景を利用し、日本庭園などの文化を楽しむ場所で、茶会の利用や休憩所利用も多いことから、日本庭園の美観維持に努め、質の高い管理を実施します。また、山里庭園、桜の里は散策を楽しみながら休憩できる快適な空間を提供します。

施設	特性と課題	維持管理の方策
おおすみ山居	・茶室と休憩所があり、 秦野市のVIP接待にも使用されている	・茶室や日本間のきめ細やかな清掃 ・伝統的な日本家屋に相応しい美観維持
日本庭園	・茶室の日本庭園と相応しい質の高い管理が求められる	・日本庭園協会の研修の場として造園技術の養成を実施 ・日本庭園の維持管理は、専門業者に業務を委託
山里庭園	・中低木類の垣根が多く、園路側に枝がはみ出し通行に支障が出る	・巡視時に注意を払い、適宜樹整管理を行い、美観を維持
桜の里	・八重桜の樹勢が衰えている ・下草が繁茂し易い	・土壌改良や施肥を実施 ・機械除草及び人力除草を適切に実施



おおすみ山居



桜の里での機械除草

○森の自然観察ゾーン

矢坪沢の森林を保全するとともに、野鳥や植物などの観察や森林浴などが楽しめるよう枝打ちや下草刈りなどの維持管理を実施します。

なお、このエリアは猛禽類などをはじめ、多くの野生動物が生息しており、自然環境の保全手法について、関係機関・団体等との情報交換や調整を図りながら管理を行います。

施設	特性と課題	維持管理の方策
自然観察の森	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察の森の樹林地は下草やつる類が繁茂し、落ち葉が多く積もる ・樹林密度が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・下草刈り、除伐、つる霧、落ち葉掃きの実施 ・枝打などの樹林管理を実施
観察池	<ul style="list-style-type: none"> ・トンボや水生昆虫、カエル等の両生類の繁殖地としての水辺管理が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・カヤやスキ等の浸食を防ぎ、泥のかき出し等を実施し、ビオトープ池を維持

■清掃管理業務

本公園は丹沢の表玄関に位置しており、登山者が利用するバスの終点となっています。シーズンの週末には大勢の登山者の乗降があり、バス停に面したトイレは大勢の登山客利用で汚れ易い場所です。公園のトイレやパークセンターをはじめ、すべての施設について常に清潔に保ちます。

施設	特性と課題	維持管理の方策
パークセンター おおすみ山居	<ul style="list-style-type: none"> ・パークセンターは、様々な利用者が多く、2階の和室・多目的ルームは休憩施設として、常にきれいな管理が求められる ・おおすみ山居は、茶室として高品位な管理が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ・パークセンターはきめ細やかな清掃管理を実施 ・おおすみ山居は茶室に相応しい丁寧な清掃に心がける
園内トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・園内各所（4箇所）に点在しており、利用頻度に差がある ・川遊びゾーンのトイレは、夏期では水着の着替えにも利用される 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度に合わせた清掃回数と点検を行い清潔な状態を維持 ・川遊びゾーンは川砂の汚れにも注意して清掃を実施
バス停前トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の玄関口にあり、登山バスの終点に位置し利用が非常に高い ・登山靴での利用も多く、泥汚れも多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の多い休日等は点検・清掃の回数を増やし清潔な状態を維持
園路、広場、スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉の季節に雨が降ると、濡れた落ち葉による転倒事故の恐れがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者が増える前の午前中に、落ち葉清掃を実施
川底、河川敷	<ul style="list-style-type: none"> ・川底に異物があると怪我の恐れがある ・上流からのゴミの流下により河川敷に堆積する 	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズンには川遊び場の川底の点検清掃を毎日実施 ・巡視時に河川敷周辺のゴミ収集を実施



利用度が高いバス停前トイレ



園内での清掃作業

■維持管理の水準を担保するための取り組み

これまで多数の県立公園を維持管理してきた技術・経験と、当協会がもつスケールメリットを活かした業務の集約化、省力化と無駄の見直し等により、業務の効率性を高めます。なお、効率化により生み出された時間・費用は、管理運営の充実や利用者サービス向上に充当します。

有資格者の配置	・公園管理運営士、防火管理者、上級救命講習修了等の有資格者を配置
業務効率化の取組	・管理マニュアルの整備 ・公園管理データベースシステムでの点検や修繕の維持管理情報の蓄積
管理水準を担保する仕組み	・定期的なモニタリングの実施 ・PDCAシステムを用いた確認と検証 ・施設特性を踏まえた専門業者への業務発注
資源循環型管理の展開	・植物性発生材のリサイクル化による活用(チップによるマルチング、防災用の薪等) ・落ち葉の堆肥化
当協会のスケールメリットを活かした取組	・人的資源の一斉投入による樹林、花壇等の景観の改善 ・他公園の類似施設の実績・ノウハウを活用した植物管理

■管理基準以上の提案

業務内容	単位	基準	計画	主な理由
林地管理	回/年	1	2	林床植物の保全のため
生垣手入	回/年	2	3	植栽育成向上のため
草地管理 人力除草・植栽地内除草	回/年	1	2	植栽育成向上のため
草地機械除草	回/年	2	3～7	景観と利用率向上のため
花壇中間管理人力除草	回/年	2	4	花壇修景向上のため

■管理項目以外の提案

業務内容	方 策	主な理由
樹木診断	サクラの老木保全のため、樹木医の診断を行い、育成管理に反映	倒木の未然防止のため
園路、広場の除雪	直営で機械除雪を必要に応じて実施	利用者の安全確保のため
駐車場の車両誘導、整理	繁忙日の大倉駐車場に直営スタッフを配置し対応	安全性向上のため

(5) 清掃、保守点検、受付等の維持管理業務についての実施方針

【山岳スポーツセンター】

当協会は平成9年の開館以来、山岳 SC を管理しており、これまでしっかりとした管理運営を行ってきました。平成 24 年度上半期の指定管理モニタリング結果報告書では、最上位の「A」評価を得ており、また、利用者満足度調査の総合評価では「よい」または「とてもよい」が8割を超えており、当協会の管理運営は良好であると評価されています。

今後、登山やクライミング競技の振興を図り、また、レクリエーションの場としての利用促進を目指し安全で快適な利用環境を整えます。

■クライミングウォールの維持管理

○保守点検

屋内外のクライミングウォールは山岳 SC のシンボルであります。不具合が発生した場合には大きな事故につながる可能性があるために、念入りの保守点検が必要です。

特性と課題	維持管理の方策
屋外 15m、屋内 6mのクライミングウォールでは、ホールドにゆらぎが生じる	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の点検を職員が目視により行います ・月 1 回はスタッフが登攀して点検を行います ・年 1 回は専門業者による保守点検を行います ・万が一、問題が見つかった場合には、使用中止とし、県教育委員会と協議します



スタッフによる屋外クライミングウォールの点検

○清掃管理

清潔は利用者への基本的なサービスと考え、日々の清掃を行うとともに、定期的に専門会社による清掃も行います。

特性と課題	維持管理の方策
屋外クライミングウォールの下に落葉や水たまりがあると利用者がスリップする可能性がある	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃で、落葉や水たまりの除去を行う
食堂やトイレの清潔維持	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多い時は、朝昼晩夜に清掃する ・汚れたら、その都度清掃する
廊下や床の清潔維持	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化を図るため、また、清潔感を出すために、専門業者による清掃・ワックスがけを行う

■ 宿泊施設の維持管理

宿泊環境は衛生・清潔を基本に維持管理します。

特性と課題	維持管理の方策
館内に持ち込まれた害虫が生息している可能性がある	・年2回、専門会社に委託し、害虫駆除を行う
宿泊者は寝具を利用する	・布団・枕は、布団干しを励行する ・シーツ、布団カバーは清潔を保つためにリースとし、使用後は専門業者がクリーニングする
畳やカーテンなどが劣化する	・劣化してきたら、取り換える



スタッフによる厨房清掃



専門業者による
ワックスがけ



布団干し

■ 植物管理について

クライミングウォール前庭の芝生や周囲の植栽木は、山岳SCの景観を構成している重要な要素です。また、芝生は観客席としても利用されています。この芝生や植栽木の適切な維持管理を行います。

特性と課題	維持管理の方策
植物全体の管理	・両施設で一体的な管理を行い、管理水準を上げる
質の高い芝生管理	・日頃から刈込や除草を行う ・年1回、専門業者によってエアレーションを行う
周辺の山林からヤマビルの侵入がある	・下草管理を積極的に行い、乾燥した環境を作る
造成された人工地盤に植栽された樹木は生育が良くない	・個々の樹木に配慮した管理を行う



観客席として利用される芝生



専門業者による芝生の
エアレーション

■受付業務等

受付は利用者が最初に立ち寄る場所であり、施設のイメージづくりにもっとも重要な場所として考え、質の高いサービスを提供します。

- ・利用者に笑顔をもって「親切」「丁寧」「公平」「平等」な対応を心掛けます。
- ・条例や規則等を遵守し、必要に応じ利用調整会議を開催し公平公正に利用承認を行います。
- ・適宜スタッフミーティングで情報を共有し、利用承認事務を円滑に進めます。
- ・受付業務にスタッフを常時1名以上配置します。
- ・県教育委員会が実施する教室の受付業務をサポートします。
- ・県山岳連盟が実施する教室等の受付業務をサポートします。
- ・利用者に規律や秩序を守り、適正で安全な利用について指導・助言を行います。
- ・山岳SCだけでなく必要に応じて公園の利用案内等も行います。



カウンターでの
受付対応

■確実な維持管理と効率化への取組み

業務の集約化、省力化により業務の効率性を高めるとともに、施設の現状を踏まえた確実な維持管理をします。

なお、効率化により生み出された時間・費用は、管理運営の充実や利用者サービス向上に充当します。

有資格者の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・防火管理者、上級救命講習修了等の有資格者を配置 ・山岳上級指導員又は同等以上のスタッフを配置
業務効率化の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・管理マニュアルに基づく業務の効率化 ・PDCAにより計画の見直し
管理水準を担保する仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングの実施 ・自己点検表を用いた確認と検証 ・施設特性を踏まえた専門業者への業務委託
コスト縮減の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・両施設による委託契約の一括発注の実施 ・複数年契約や資材の一括発注、他公園との一括発注を実施

■管理基準以上の提案

業務内容	単位	基準	計画	主な理由
排煙設備動作点検	回/年	なし	4	異常等の早期発見、安全確保
一般放送設備点検	回/年	1	2	防災設備点検に併せて実施
館内定期清掃	回/年	2	4	ワックス機能保持
エアレーション	回/年	なし	1	質の高い芝生管理のため
機械警備	回/年	なし	通年	適切な保安警備業務のため

<付属書類> 秦野戸川公園のみ：年間維持管理計画表（別添）

提案書 4 「利用促進のための取組、利用者の対応、利用料金」

(1) より多くの利用を図るために行う広報・PR活動の内容等【共通】

当協会は、多くの方に両施設を知っていただき、利用するきっかけを提供するため、多様な手段を通じて積極的な広報活動を継続します。

情報の種類や広報の目的、対象者に応じて、適切な時期や手段、媒体を選んで情報発信を行っていきます。

■広域的に情報発信するための幅広い媒体の活用

当協会が従来から築いてきた関係機関とのネットワークを活かし、幅広い広報媒体を用いて県内全域、さらには首都圏全体からの集客を図ります。

また、イベントについては、内容に応じてターゲットを絞った告知を行い、その内容に関心のある方に情報が行き届くような広報手段、媒体を選択します。

独自の広報ツール	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会ホームページ、両施設ホームページ（適時更新） ・本公園の「秦野戸川公園だより」（年4回発行） ・公園情報誌「かながわパークナビ」（年2回発行） ・イベントポスター、チラシを園内や関係施設、市内及び近隣店舗で掲示・配布
マスコミへの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ラジオ、新聞等へのイベント情報の積極的な掲載依頼 ・情報誌、ガイドブック等への情報提供、掲載依頼 ・雑誌「山と溪谷」、「岳山」など全国紙への依頼
「首都圏みどりのネットワーク」との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の公園と共同のガイドブック作成、販売 ・首都圏公園スタンプラリーの開催
秦野市など5市町村の広域観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリーの開催 ・旅行情報誌等への掲載依頼
外部ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・県情報サイトの活用等 ・秦野市観光協会「はだのイベントカレンダー」サイトの活用 ・神奈川情報サイトの活用 ・日本観光ネットワークの活用
交通広告	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急電鉄の駅舎等へのポスター掲示・リーフレット配架等 ・神奈川中央交通と連携したバスの車内広告

■地域のネットワークを活用した情報提供

地域に根差した公園づくりの一環として、これまでに築いてきた自治体や関係機関など地域のネットワークを活用し、周辺住民や地域に情報発信します。

自治体広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・県広報紙「県のたより」への掲載依頼 ・秦野市「広報はだの」への掲載依頼
回覧板、掲示板	<ul style="list-style-type: none"> ・堀山下・戸川・横野の各自治会と連携し、回覧板や掲示板等を活用した情報提供

■両施設のイメージアップに繋がるイベント、キャンペーンの開催

イベントやキャンペーンなどの機会を通じ、公園のイメージアップを図ります。

フォトコンテスト開催 【毎年】	<ul style="list-style-type: none"> ・県立公園を対象とした「花とみどりのフォトコンテスト」を開催 ・入賞作品を紹介する写真展を各公園や病院等で開催 ・入賞作品を使ったオリジナルカレンダーの制作
本公園スケッチ展	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原近郊スケッチの会「みどり光の風景画」を展示 ・秦野市観光協会スケッチハイク「秦野戸川公園風景画」を展示
私の逸品写真展	<ul style="list-style-type: none"> ・本公園で撮影したスナップ写真等を展示
外部イベント等でのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム等の外部イベントでの発表や公園情報の展示 ・秦野市など5市町村広域観光振興の外部イベントで公園情報の展示
当協会マスコットキャラクターの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会マスコット「コーちゃん&エンちゃん」が公園や地域イベントに出演し、知名度向上を図る
本公園スマイルボード	<ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ本公園へ「丹沢はだの三兄弟スマイルボード」の設置
花とみどりの祭典	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ、アジサイ、ヒマワリ、コスモス等の開花時期に「花とみどりの祭典」を開催

■利用者数の目標値

両施設の魅力アップや上記のような広報、PR活動と合わせた様々なイベント等の利用促進方策により、両施設の利用者数を平成24年度実績455千人から、今後5年間で10%増を目指します。

(2) 提案内容の実現の見込み【共通】

当協会では、平成9年度から本公園・山岳SCの両施設を管理運営してきました。その間培ってきた地域との連携やスケールメリットを活かした広報・PR活動を行ってきました。上記提案内容の8割以上は実施済みであり、本公園と山岳SCの管理が一体化されたことを機にさらに確実に実施していきます。また、「秦野戸川公園だより」については年4回、毎回3,000部を発行している実績もあり、広域への情報発信ツールとしての効果を発揮しています。



「秦野戸川公園だより」

(3) より多くの利用を図るために実現する事業の実施方針、内容等の考え方【秦野戸川公園】

従来から定評のある自然やレクリエーション機能を魅力アップするとともに、山岳SCのもつ機能も組み合わせた新たな魅力やサービスを創出し、双方のネットワークを活かし、広く情報を発信します。

■公園の魅力を満喫するイベントプログラム

公園施設の持つ様々な魅力を活かしたイベントやプログラムにより、利用者の増加を図ります。

○花とみどりの祭典

花の修景による一年を通じた公園の魅力づくりを行います。開花の最盛期に合わせて、花苗などの販売や花写真展を行なう「花とみどりの祭典」を開催して、公園の魅力をPRし、公園利用の拡大を図ります。



花とみどりの祭典

花とみどりの祭典と開花時期

★ 花とみどりの祭典イベント

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
花とみどりの祭典	チューリップ	★												
	ポピー		★											
	アジサイ			★										
	ヒマワリ					★								
	コスモス							★						
	菜の花											★		
	サンパチェンス		■											
その他の花・木	八重桜	■												
	河津桜												■	
	サルビア		■											
	ウメ												■	
	フジ		■											
	パンジー	■									■			
	バラ(春・秋)		■							■				
	ざる菊									■				



4月にはチューリップ



8月にはヒマワリ



2月には菜の花

○秦野戸川公園まつりの開催

「秦野戸川公園まつり」は地元自治会や秦野市観光協会など16団体で構成する「秦野戸川公園まつり実行委員会」によって運営しており、アルプホルンなどの演奏、模擬店、竹細工教室などにより、地域振興と公園の魅力を発信しています。



アルプホルンの演奏